

第44回（平成23年度）岡山県三木記念賞及び同助成金 受賞者の決定と授与式の挙行について

1 事業の概要及び経過

(1) 岡山県三木記念事業

故岡山県知事三木行治氏が受賞されたマグサイサイ賞の賞金を原資として広く一般から浄財を募り、岡山県三木記念事業基金を設け、同氏の業績をたたえるとともに、その人間愛に満ち公共奉仕に徹した精神を生かす目的で、地域社会の発展に貢献した者を顕彰し（個人）又は助成する（団体）ものである。

なお、昭和43年が第1回であり、本年度が第44回である。

(2) 受賞者決定までの経過

- ・ 4月12日（火） 実施要領発表
- ・ 5月16日（月） 推薦締切り <候補者（団体）数>

三木記念賞の部	10人
三木記念助成金の部	13団体

- ・ 6月30日（木） 第1回運営審議会……受賞候補者選考の諮問
- ・ 7月25日（月） 第2回運営審議会……受賞候補者の選考及び答申

2 第44回（平成23年度）岡山県三木記念賞及び同助成金受賞者

(1) 岡山県三木記念賞（表彰状・メダル及び賞金30万円）

氏名	年齢	役職等
こだにしんぞう 小谷 眞三	81	ガラス工芸家
ながやまかつみ 永山 克巳	82	元岡山県医師会会長
なんばまさよし 難波 正義	76	新見公立大学・新見公立短期大学学長

(2) 岡山県三木記念助成金（表彰状及び助成金50万円）

団体名	代表者
岡山県少年少女合唱連盟	理事長 棚田 国雄
国際貢献大学校運営機構	理事長 的野 秀利

3 授与式

- (1) 日時 平成23年9月2日（金）午前11時から
- (2) 場所 岡山市中区古京町1-1-10
岡山衛生会館「5階中ホール」

三木記念賞

倉敷市粒江

こだに しんぞう

小谷 眞三 (81歳)

1 主な経歴

- | | | |
|-------|-----|------------------------------------|
| 昭和39年 | 12月 | 岡山県倉敷市水島に「水島ガラス」を創業 |
| 昭和41年 | 2月 | 倉敷民藝館・外村吉之介初代館長が「倉敷ガラス」と命名 |
| 昭和42年 | 6月 | 天満屋岡山店で初の個展 |
| 昭和45年 | 10月 | 大原美術館東洋館にステンドグラスを納入 |
| 昭和53年 | 9月 | 第8回世界クラフト会議京都大会に参加・発表 |
| 昭和55年 | 7月 | 第9回世界クラフト会議ウィーン大会に参加 |
| 昭和56年 | | 京都国立近代美術館「現代ガラスの美—ヨーロッパと日本—」
出展 |
| 昭和60年 | | 岡山市立オリエント美術館「吹きガラスの歴史展」出展 |
| 平成3年 | 7月 | 総理官邸文化懇親会に招待される |
| 平成8年 | 4月 | 倉敷芸術科学大学芸術学部教授（平成16年まで） |
| 平成8年 | 4月 | 倉敷民藝館評議員（現在に至る） |

2 功績の概要

氏は、「民芸のまち倉敷」を代表する民芸品の一つである「倉敷ガラス」の創始者であり、機械工程の中で失われていったガラスの温かみを取り戻し、柳宗悦、外村吉之介らの提唱した「民芸の美」として体現した功績が顕著である。

一つ一つを丁寧に口吹きで制作、それぞれが違う表情と味わいを持つ「倉敷ガラス」は、倉敷民藝館初代館長の外村吉之介氏の命名によるものであり、イギリス人陶芸家のバーナード・リーチからも高い評価を得るなど、その作品は県内外で広く評価されており、平成5年には文化庁地域文化功労賞、平成18年には岡山県文化賞を受賞し、今日に至っている。

また、平成8年から平成16年まで倉敷芸術科学大学芸術学部教授として後進の指導にあたるなど、氏が、本県文化の振興に果たしている功績は誠に顕著である。

三木記念賞

倉敷市幸町

ながやま かつみ

永山克巳(82歳)

1 主な経歴

昭和28年	3月	大阪大学医学部卒業
昭和33年	4月	永山医院開設
昭和51年	4月	岡山県医師会理事(昭和63年3月まで)
昭和63年	4月	岡山県医師会副会長(平成6年3月まで)
昭和63年	9月	岡山県医療審議会委員(平成12年3月まで)
平成6年	4月	岡山県医師会会長(平成12年3月まで)
平成6年	4月	岡山県精神保健福祉審議会委員(平成12年3月まで)
平成6年	4月	岡山県健康づくり財団理事長(平成12年3月まで)
平成12年	10月	岡山県公安委員(平成18年9月まで)
平成13年	10月	岡山県公安委員会委員長(平成14年9月まで) (平成16年10月から平成17年9月まで)

2 功績の概要

氏は、昭和51年から平成12年までの24年間にわたり、医師会役員、副会長、会長として、卓越した理念とたくましい実行力と優れた統率力をもって会員の指導にあたり、医学医術の研鑽、医倫理の実践を推進し、医道の昂揚に努めるとともに、3,000余名の岡山県医師会員と行政が一体となって、健康教育活動、成人病予防活動、へき地医療活動、学校保健活動及び公害防止活動を実施するなど、県民の健康福祉の増進活動や救急災害医療体制作りを強力に推進した。

また、昭和33年に永山医院を開設し、現在まで、永年にわたり地域住民の健康保持、疾病治療に努め、労を惜しまず住民の健康増進のため心血を注いで医療に取り組む姿は、地域住民から篤い信頼を寄せられている。

さらに、平成12年から平成18年までの6年間岡山県公安委員会委員として、県民が安全で安心して暮らせるまちづくりに努め、この間、2期2年間は、委員長として、警察行政への県民の意思の反映、警察の民主的運営や政治的中立の確保に尽力した。

また、岡山県医療審議会委員等、各種医療関係審議会の委員として、医療行政、医学の進歩、医療の充実強化、保健衛生の発展と適正化に努め、県民のための保健衛生の向上に尽力した功績は誠に顕著である。

三木記念賞

新見市新見

なんば まさよし

難波正義 (76歳)

1 主な経歴

昭和36年	3月	岡山大学医学部卒業
平成2年	4月	岡山大学医学部教授 (平成13年3月まで)
平成8年	5月	日本組織培養学会会長 (平成13年5月まで)
平成11年	4月	岡山大学医学部長 (平成13年3月まで)
平成14年	4月	新見公立短期大学学長 (現在に至る)
平成16年	1月	日本癌学会名誉会員 (現在に至る)
平成17年		財団法人岡山医学振興会理事長 (現在に至る)
平成19年	5月	日本組織培養学会名誉会員 (現在に至る)
平成20年	4月	新見公立短期大学理事長 (現在に至る)
平成20年	5月	独立行政法人大学評価・学位授与機構短期大学機関別認証評価委員会委員 (現在に至る)
平成20年	5月	全国保育士養成協議会常任理事及び中・四国保育士養成協議会会長 (平成22年5月まで)
平成22年	4月	新見公立大学学長、理事長 (現在に至る)
平成22年	4月	全国公立短期大学協会副会長 (現在に至る)

2 功績の概要

氏は昭和36年に岡山大学医学部を卒業後、同大学医学部の助手、助教授、川崎医科大学助教授を経て岡山大学教授を務め、その間は研究者として多くの新しい発見を成し遂げる傍ら、学生の教育にも強い熱意を注ぎ、育てられた研究者、医師は現在岡山をはじめ日本全国で指導的な役割を担っている。

氏が岡山大学在職中に発見した腫瘍抑制遺伝子 (REIC) については、岡山大学発のベンチャービジネス (桃源社) の立ち上げのシードとなったほか、この遺伝子を用いた前立腺ガン治療の臨床試験が既に始まるなど、大いに注目を集めている。

また、氏は研究のみならず、永年にわたり、岡山大学医学部、川崎医科大学、新見公立大学で教育に携わり、いずれの大学においても積極的な教育改革を行い、各大学の活性化に貢献してきた。

平成11年4月に岡山大学医学部長に就任後は、医学部と歯学部が統合した大学院医歯学総合研究科を創設し、大学院教育の充実化、教育研究の一層の効率化、活性化を実現した。

さらに、平成14年4月から、新見公立短期大学の学長として、県北地域の教育にも力を注ぎ、地域看護学専攻科の新設や4年制の新見公立大学看護学部看護学科の創設など、目覚ましい改革・発展を成し遂げた。現在、学生は全国から集まっており、高齢化・過疎化に悩む新見地域の活性化にも大きく貢献している。氏が本県における医学の発展や医療・福祉教育の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

三木記念助成金

名 称 岡山県少年少女合唱連盟
代表者 理事長 棚田 国雄
所在地 岡山市中区山崎 3 7 8

1 概 要

加盟団体の相互の連絡及び親睦を図りつつ、演奏会の毎年開催等精力的な合唱活動を通じて岡山県における青少年の文化活動の振興に寄与することを目的とする。

2 業 績

岡山県少年少女合唱連盟は、昭和51年に津山、桃太郎、倉敷及び岡山の県内4つの少年少女合唱団によって結成され、現在は17合唱団が加盟し、昨年35周年を迎えた。毎年、県内各地を演奏会で巡り、加盟団体の交歓演奏や指導者の相互研究を行うなど、長きにわたって、精力的に合唱活動を行ってきた。

第10回の演奏会では、瀬戸大橋開通を記念して合唱組曲「岡山に生きる」を演奏した。第20回演奏会では合唱組曲「虫の絵本」を演奏し、好評を博した。「虫の絵本」はその後、全国的に愛唱されるようになった。第30回演奏会では、「晴れの国おかやま国体」の協賛として「希望の岡山」を演奏した。35周年には、第25回国民文化祭・おかやま2010「合唱の祭典」の主催者の一団体として熱演し、閉会式では、「文化爛漫宣言」を高らかに宣言するなど、その合唱活動を通じて青少年の文化活動の振興に貢献した功績は誠に顕著である。

三木記念助成金

名 称 国際貢献大学校運営機構
代表者 理事長 的野 秀利
所在地 新見市哲多町本郷688-1

1 概 要

公設国際貢献大学校の指定管理者等として、国際貢献活動に携わる人材を育成するとともに、大学校が組織している「ももたろう国際救援隊」により、国内外の大規模災害に際して、関係機関と連携し、被災地の復興に尽力している。

2 業 績

公設国際貢献大学校の指定管理者等として、同校の運営に携わり、「国際救援活動要員養成講座」など、国際協力・貢献活動を行う専門家の養成、国際ボランティアの養成、国際理解教育、環境学習等の研修事業を実施し、国際的な人道支援に携わる人材を育成してきた。

特に、「国際救援活動要員養成講座」の修了者の中から希望者を登録し、組織している「ももたろう国際救援隊」は、スマトラ沖地震（H16）、四川大地震（H20）、ハイチ大地震（H22）に加え、本年3月に発生した東日本大震災等の国内外の大規模災害に際して、県と連携し、物資の提供や救援隊の派遣等被災地で専門性を生かした支援活動を行い、被災地の復興に尽力した功績は誠に顕著である。